

命の大切さを考える授業（第1回） いじめについて考えよう！

大切にしたいこと
あいさつ・掃除・思いやり

第3回 全校集会

9月は北九州市の「いじめ撲滅月間」でした。そして、9月10日から16日までは、全国自殺予防週間でした。北九州市全校で、9月末に「いじめ調査」を行い、一人一人と面談を行いました。

始業式の式辞の中でも話しましたが、一人一人に「命の大切さ」「生きるということ」について考えてほしいと思いますし、このような「いじめ撲滅月間」での取組を通して、改めて、生徒が過ごしやすい学校、いじめのない学校をつくっていくように、生徒、教職員、保護者の皆さんと一体となって取り組んでいきたいと思います。

さて、本校では、9月21日（木）に、第1回「命の大切さを考える授業」と題して、全校集会を行いました。校長講話（いじめに遭っていた中学生の話）、その後で生徒会が考えてくれた寸劇がありました。生徒会の寸劇の内容は、教室中でありそうな場面を、A君、B君、C君役で3パターンの対応の仕方を演じてくれました。そして、生徒の皆さんに、どれが良い対応でしょうかと問いかけました。とても考えさせられる内容で生徒会の皆さんの工夫が素晴らしかったです。その後で、教室で全員感想文を書きました。



<生徒の感想より>

○今回のお話は、とても苦しいお話でした。校長先生のお話でもあった通り、いじめというのは、自分も誰も得になりません。いじめという行動は、人が人の命を奪ってしまうことにもつながっていくと思いました。そして、生徒会の劇では、第三者からの行動は、どうすべきかというものでした。私は、もし、いじめられている人がいたら助けることができるのかとても心配です。だけど、助けてあげたいという気持ちはあるので、怖さを捨て、助けていきたいと思いました。



○改めて、「いじめ」は、いけないことだと思いました。「いじめ」は、「命」に関わることもあるし、「いじめ」が起きて、「自分はいない方がいい」と思う人もいれば、「がんばって学校に行こう」という人もいるけど、私は、まず、「いじめ」がないように、いじめが起きないようにすることが大事だと思いました。私は、いじめのないクラス、学年などにしていきたいと思いました。

○「いじめ」は、最初はふざけている程度かもしれないけど、ひどくなるとたいへんなことになるので改めて認識しました。次に、生徒会の劇で、もしも自分がCさんの立場だったら3択クイズの正解のように実際行動できるのかと思いました。その人を救えば、自分がターゲットになるかもしれないし、勇気がないから、あきらめてしまうかもしれないけど、Aさんの気持ちを考えれば、苦しさがわかるので、いじめられている人の気持ちを優先したいと思いました。今後もしじめなどが起きないようにしたいし、起こっても止めたいです。

○今回の全校集会で、「いじめ」はされる人とする人だけなのではなくて、見て見ぬふりをするのが1番ダメなんだと知りました。私が、もし「いじめ」をされたら、誰かに助けてほしいのと同じで、いじめられている人も助けを求めているのだと感じました。この授業をきっかけに、もしいじめられている人を見たら、私から、声をかけられるようにできたらと思います。

○生徒会の劇を見て、身近な人がいじめていたり、いじめられているのを見たときに、難しいかもしれないけど、助けてあげたり、支えになってあげることがやっぱり1番大切なんだと思いました。校長先生のお話では、いじめられているにも関わらず、彼女が、「いじている人たちがかわいそう・・・」と言っていたことを知って、びっくりしたし、その心の強さにも驚きました。今日、いろいろなことに気付かされたので、いじめを見たりしたときに、ちゃんと対応できるようにしたいと思いました。

○生徒会の劇は、笑いを取りつつ、真剣に演技をしていたので考えさせられました。Cさんの立場でどれが1番良いか、わかってはいるけれど、本当に行動するのはとても難しいことです。その時、その時に、後で後悔しない選択をしたかったです。

○今日の全校集会で、いじめが起きていたらみているだけではなく、それを止めようと自分で行動することが大切だとわかりました。校長先生の話にもあったように、いじめをした方も、された方も、悲しい結果になってからでは遅いし、その人たちの親なども悲しんでしまうので、そういうことは絶対にはいけないと思ったし、必ず、止めないといけないと思いました。いじめられている人に助け船を出すだけでもよいので、そんな行動ができるようにしようと思いました。

大切にしたいこと あいさつ・掃除・思いやり 3年の教室から



先生が出張でいなかった日の3年4組の掃除時間です。先生がいなくても、自分たちで、ほうきの人、雑巾の人と決めて、たいへん手際よく黙々と掃除をしていました。

掃除は、教室をきれいにするためだけでなく、心を磨くことにつながります。

誰に言われてするのではなく、学級全体が、「自ら動いている姿」に感心しました。さすが3年生！